

鷹南学園 三鷹市立第五中学校 体育館

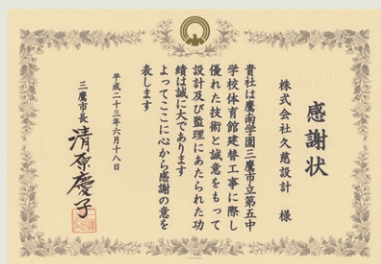
施工地／東京都三鷹市新川1丁目7番20号
竣工年月／平成23年6月
敷地面積／13,094.00m²
延床面積／954.92m²
構造／鉄骨造2階建



合理的で効率的な計画

創立から50年を迎えました鷹南学園三鷹市立第五中学校は充実した教育環境の構築と地域の防災拠点としての安全性の向上を図る為、老朽化が進む体育館の改築を計画し本年6月に完成いたしました。

本改築では、既存の校舎棟とプール棟に挟まれる限られた敷地条件においてアリーナ部分の面積を十分に確保し、機能性を維持しながら無駄なスペースが生じないように施設全体をコンパクトにまとめ、狭隘地での施工性や建設コストに配慮する平面計画としました。



三鷹市様からの感謝状



清原慶子三鷹市長様より感謝状を頂く
小川直樹東京支社長



学校関係者及び工事の皆様と共に



平成23年6月18日に行われた新体育館での
創立50周年式典

利用目的に応じた施設計画

本施設の利用は日常的に生徒が中心となりますが、地域開放による一般者の利用や、災害時の拠点としての役割を担っており、生徒や来館者など誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインを基にバリアフリーの徹底を図りました。施設内部の出入口は引戸式を採用し、舞台袖とステージの間には車椅子対応の段差解消機を設置して段差の解消を図り、トイレも車椅子対応の多目的トイレとするなど人に優しい施設を目指しました。また、柱間の空きスペースを利用しベンチを設置し体育館の利便性向上にも配慮いたしました。

地域の災害拠点としての役割を担う本施設には、災害時における避難所機能の向上を見据え、プール棟との間に災害時用のマンホールトイレに対応する排水設備を設けました。災害緊急時の避難者の健康と衛生面に配慮する、安心して利用できる施設となっております。また、体育館と前面道路との間には憩いの場としての花壇とベンチを設けました、地域の皆様が学校に親しみを感じる、ふれあいの場を目指しました。



地域の皆様が学校に親しみを感じる、憩いとふれあいの場としてベンチを設置



三鷹市の公共施設として初のマンホール
トイレに対応する排水設備



全景



木質素材を活かしたステージ



屋根構造



車椅子の生徒もステージに上がることができる車椅子対応段差解消機

意匠設計担当紹介

INTRODUCE OF OUR ARCHITECT



東京支社 主査 渡邊 篤

時代の変化とともに学校施設としての体育館から地域の体育館へと担う役割が変わりつつある今日において、鷹南学園三鷹市立第五中学校体育館の改築におきましては、教育環境の整備、地域住民への施設開放に対する配慮、防災拠点機能の強化を整備の主要事項とし、誰もが利用しやすい施設造りを行うことを基本方針に設計に取り組みました。